ヨシムラ YOSHIMURA®

SPECIAL PARTS TECHNICAL SERVICE MANUAL

CB1000F Slip-On サイクロン

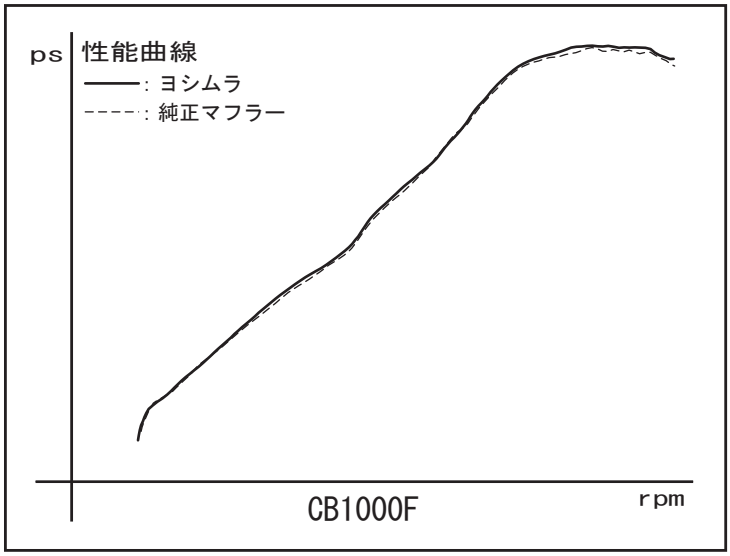
取扱説明書

○作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
○作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
○本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

▲危険	怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。
⚠注意	怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。
参 考	スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

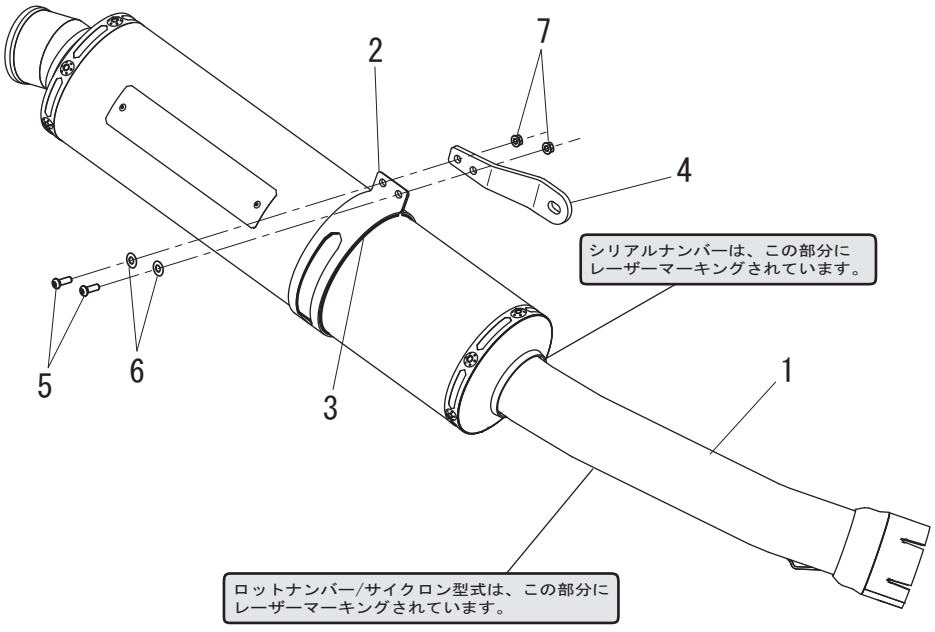
1.適応車種及び諸元表

車名	HONDA CB1000F	
車両型式	8BL-SC94	
エンジン型式	SC94E	
認証番号	JMCA1026001274	
サイクロン型式	H41LSCI11	
素材	SUS304 / Ti	
品番	ステンレスサイレンサー	: 110-41L-5450
	チタンサイレンサー	: 110-41L-5480
	チタンブルーサイレンサー	: 110-41L-5480B
重量	純正マフラー	: 4.6 kg
	ステンレスサイレンサー	: 3.9 kg
	チタンサイレンサー	: 3.7 kg
	チタンブルーサイレンサー	: 3.7 kg



2.セット内容

触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク
無	可能	可能	可能	純正品を使用	不要	可能



NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	サイレンサー（ステンレスカバー）	1	139-41L-5450	4	サイレンサーステー	1	161-41L-0300
	サイレンサー（チタンカバー）		139-41L-5480	5	ボタンボルトM6×18	2	803-206-4018
	サイレンサー（チタンブルーカバー）		139-41L-5480B	6	SUSワッシャM6×13	2	812-206-1310
2	サイレンサーバンド	1	162-41R-2500	7	フランジナットM6	2	823-006-1000
3	サイレンサーバンド用スペーサーラバー	1	896-003-1536				

３．取付方法

⚠注意　※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

１．セット内容を確認して下さい。

２．オプションのセンタースタンドをご利用の場合は、車両をセンタースタンドで立たせて下さい。
メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、純正マフラーを取り外して下さい。純正マフラーを取り付けていたボルト等は、本製品取り付けの際に使用します。
（ＦＩＧ．１参照）



ＦＩＧ．１

３．純正サイレンサーからクランプバンドを取り外して下さい。取り外したクランプバンドは本製品の取り付けに使用します。

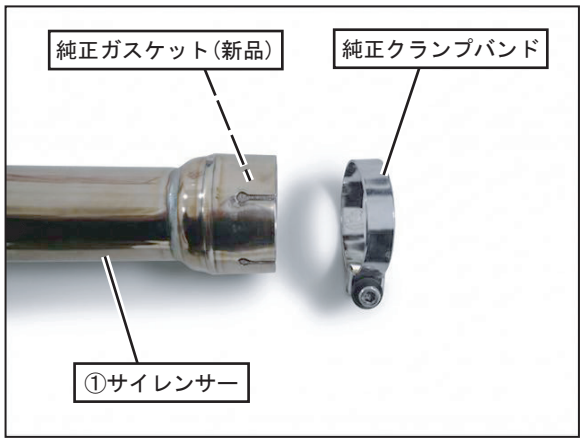


ＦＩＧ．２

４．クランプバンドの爪を、サイレンサー前側差し込み部分に当たらないよう真っ直ぐに伸ばして下さい。
（ＦＩＧ．２参照）

５．①サイレンサー前側に、メーカー純正の新品ガスケットを挿入し、クランプバンドを取り付けて下さい。
（ＦＩＧ．３参照）

⚠注意　必ずメーカー純正のガスケットを使用して下さい。
HONDA純正品番:18391-MGP-D60

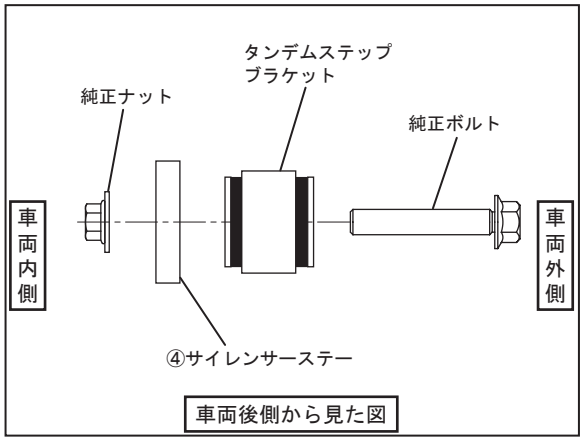


ＦＩＧ．３

６．④サイレンサーステーを純正ボルト、ナットを使用して車両のタンデムステップブラケットに仮締めして下さい。
（ＦＩＧ．４，５参照）



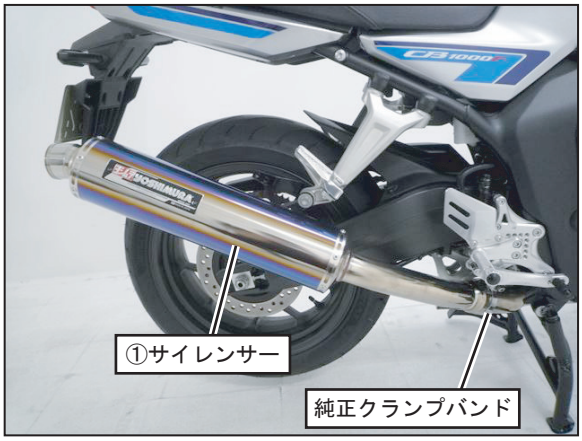
ＦＩＧ．４



ＦＩＧ．５

7．①サイレンサーを車両に取り付け、クランプバンドを仮締めして下さい。（ＦＩＧ．６参照）

⚠注意　仮締めの際にサイレンサーが倒れないように注意して下さい。

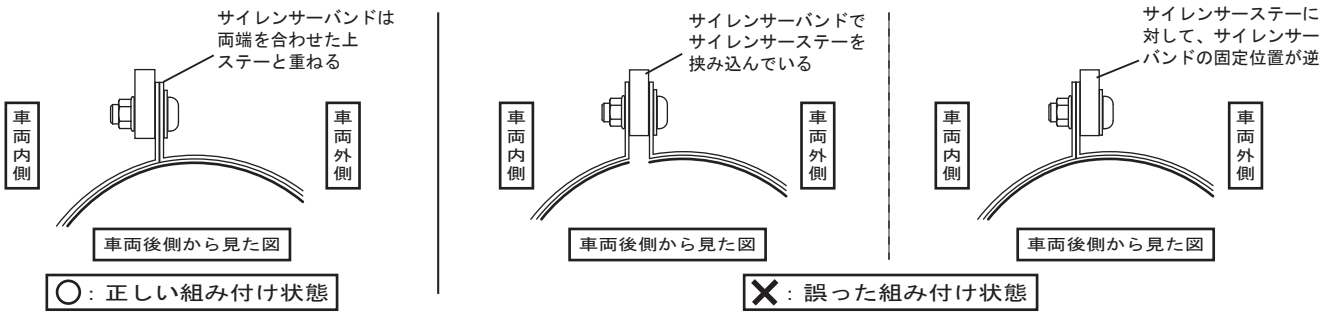


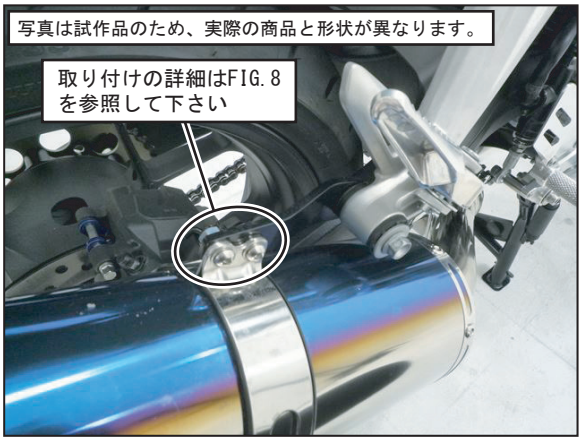
ＦＩＧ．６

8．②サイレンサーバンドに③サイレンサーバンド用スペーサーラバーを取り付けてから①サイレンサーに通し、手順６で車両に取り付けた④サイレンサーステーに⑤ボタンボルトＭ６×１８、⑥ＳＵＳワッシャＭ６×１３、⑦フランジナットＭ６を使用して仮締めして下さい。
（ＦＩＧ．７，８参照）

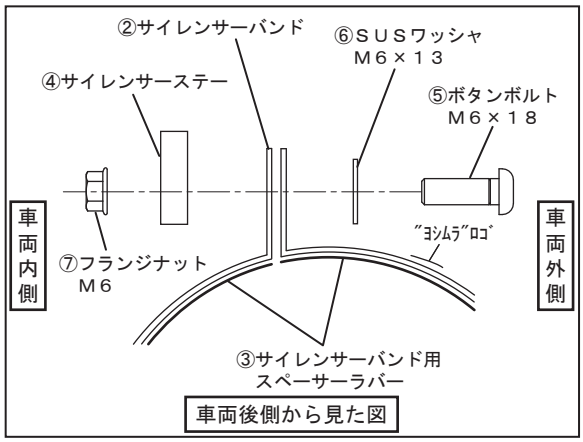
参 考　※サイレンサーを取り付ける際、バンドに表示してあるヨシムラのロゴが車体外側になるように取り付けて下さい。
※参考位置として、サイレンサーのカバー前端からサイレンサーバンド前端までがおよそ150㎜程度になります。

⚠注意　■誤った組み付けは走行振動によるサイレンサーバンドやマフラーの変形、破損、脱落を招きます。
※サイレンサーバンドはサイレンサーカバー端面と平行に、サイレンサーとの間に隙間がないように組み付けて下さい。
※バンドの間にステーを挟んで固定しないで下さい。バンド両端（耳部）を合わせた上、ステーと重ねて下さい。
※ステーに対するバンドの固定面（車体内側／外側）は必ず手順指示の通り取り付けて下さい。





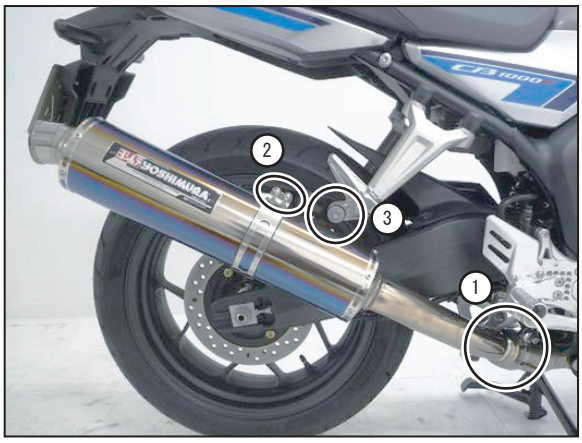
ＦＩＧ．７



ＦＩＧ．８

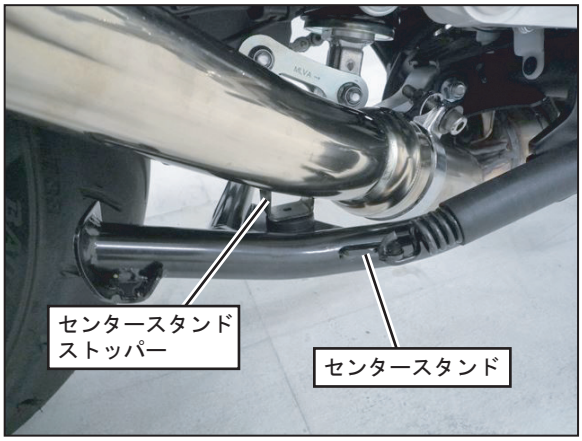
９．車両後方から見てサイレンサーの傾きやマフラーと車両とのクリアランスを確認し、クランプバンド→サイレンサーバンド、サイレンサーステーの順に規定トルクで締め付けて下さい。（ＦＩＧ．９参照）

⚠注意	規定トルク	クランプバンド	：１５Ｎｍ
		ボタンボルトＭ６	：１０Ｎｍ
		純正ボルト（Ｍ８）	：２３Ｎｍ



ＦＩＧ．９

１０．オプションのセンタースタンドをご利用の場合は、センタースタンドをゆっくりと戻し、センタースタンドが①サイレンサーのセンタースタンドストッパーに当たっている事を確認して下さい。位置が合わない場合は締め付けたボルト・ナットを緩め、当たる位置に再調整して下さい。（ＦＩＧ．１０参照）



ＦＩＧ．１０

１１．マフラーと車両各部(スイングアーム、ゴムホース等)とのクリアランスが１０㎜以上確保できていることを確認して下さい。クリアランスが確保できない場合はマフラーのボルト・ナットを緩め、再度位置を調整して下さい。

⚠危険	位置調整を行ってもクリアランスが確保できない場合は取り付けを中止し、ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。 十分なクリアランスを確保していないまま使用すると、車両やマフラーの破損等の重大なトラブルに繋がる恐れがありますので決して使用しないで下さい。 上記を無視して使用した場合に発生した不具合（事故、車両や製品の破損等）は保証の対象外となります。

１２．中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまうことがあります。

⚠注意	※エンブレムの色落ちの原因になりますので、中性洗剤以外は使用しないで下さい。

１３．エンジンを始動して排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。

⚠注意	ごく稀に、マフラー及び取付に異常が無くても、マフラー交換後にアイドリングが安定せずエンジンストールを起こす事があります。この場合、車両制御の関係にて製品の異常ではありません。02センサ、スロットル、インジェクタに異常が無い事を確認の上、ECM学習値のリセットが必要です。専用ツールを用いた作業が必要ですので、車両の販売店様にご相談下さい。



HONDA CB1000F Slip-On サイクロン

オプションパーツ：カーボンヒートガードSET TYPE-1
(PARTS NO.161-000-A610)



製品情報ページ

⚠重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。

⚠危険

※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
※エンジン停止時に空吹かしをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。
※車両の取り扱いや商品の取り付けは適切な服装、装備にて行って下さい。怪我や火傷の原因になる恐れがあります。

⚠注意

※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。
※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。
※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

●ヨシムラサイクロンのメンテナンス

※走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。
※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行い、マフラー各部の点検（変形、キズ、車体との干渉等）を行って下さい。
※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。
※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、（株）ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

●２年保証について

※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から２年間の保証対象となります。
※登録方法につきましては右記のＱＲコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。
※使用過程で発生した商品の変色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。
長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となりますが、ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧下さい。
※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

オンライン保証登録のご案内：http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php

保証登録のご案内

アフターサービスのご案内

●「政府認証マフラー」について

※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアーし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。
※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はＪＭＣＡ事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン　〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

・マフラーリメイクのご案内 ▶ マフラーリメイクのご案内

・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

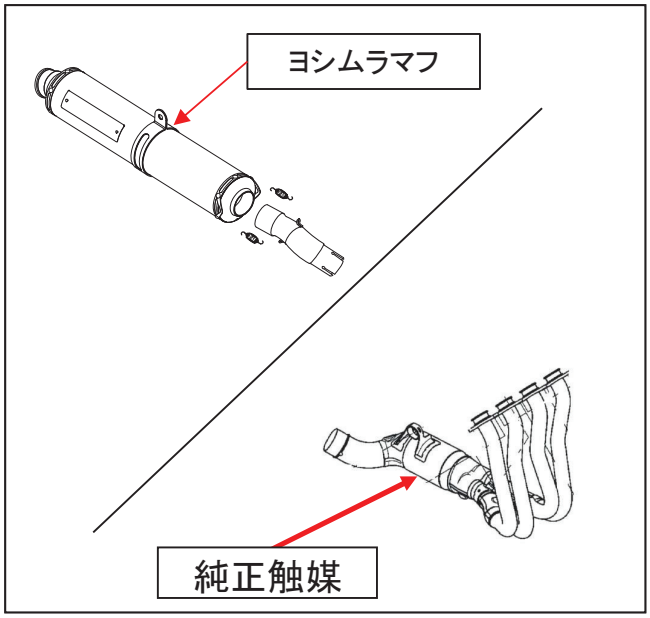
お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。 ▶ お問い合わせのご案内

このマフラーは平成32年排出ガス規制に該当していますが、純正マフラー内の排出ガス発散防止装置（触媒）は取り外さず、触媒装置以降の交換となっています。そのため、問題なく車検を受けることが出来ます。

車検時に触媒装置の有無について確認を受ける場合がありますので、受験の際は必ずこの確認書を持参してください。

自動車車名・型式	ホンダ 8BL-SC94
マフラーメーカー名	株式会社　ヨシムラジャパン
マフラー名称	CB1000F Slip-On サイクロン EXPROT SPEC 政府認証
マフラーJMCA認定番号	JMCA1026001274

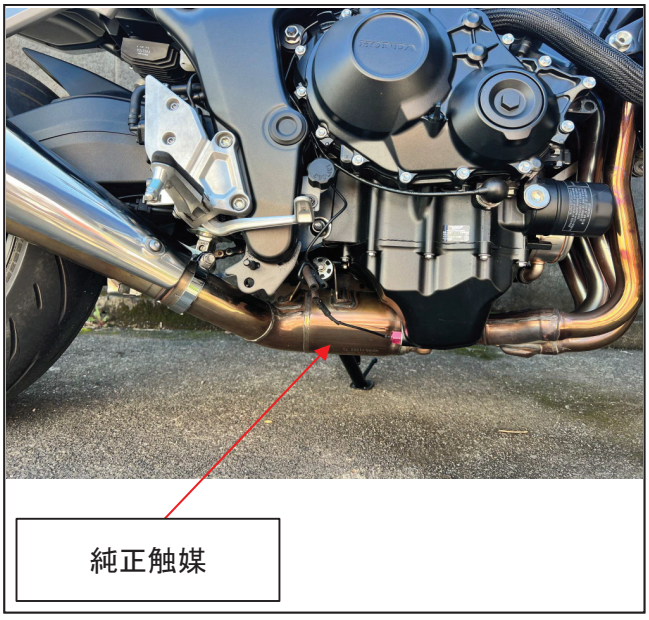
構成図



純正触媒の装着位置



純正触媒



製品と純正触媒の取付写真



全国二輪車用品連合会
東京都港区赤坂2-19-5
内田ビル2F
TEL:03-5545-7220